

○議長 横尾 武志君

8 番、小田議員の一般質問を許します。小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

お疲れさまです。8 番、小田でございます。

一般質問を行います。

高齢化社会の進展に伴いまして、いろんな公共施設や道路におきますところのバリアフリー化が強く社会背景として求められているのが今日であろうと思います。そのことを念頭に置きまして、質問させていただきます。

件名につきましては、道路上における歩行者の安全対策についてということで、要旨の 1 点目として、道路上の公共下水道の公共ますの設置カ所数、これはどのくらいあるのかということでお尋ねいたします。

2 点目としては、この公共ますの維持管理、これについてはどのようにされているのか。この 2 点につきまして 1 回目の質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。都市整備課長。

○都市整備課長 大石 眞司君

ただいまの件名、道路上における歩行者の安全対策について、要旨①の道路上の公共下水道の公共ますの設置カ所数はどのぐらいかの質問でございますが、今現在設置されている公共ますは約 4,930 カ所でございます。

要旨②の公共ますの管理はどのようにしているのかの質問でございますが、管理につきましては、担当職員が不定期ではありますが、現場の巡視点検を行っております。公共ますを含めました管渠全体の管理を行っております。

また、下水道関係の維持管理といたしまして、毎年計画的に管渠清掃委託業務を行っておりますが、その際に公共ますについても清掃を行っております。したがって、公共ます周辺に段差等の異常が見つかった場合は、舗装の補修などを行っております。

以上のような管理を行っております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

公共下水道につきましては、ご承知のとおり、昭和 48 年から工事が始まりまして、町内の公共下水道の整備に当たってきたわけでございますけれども、各家庭から公共下水道につなが込む、

平成 23 年第 3 回定例会（一般質問）

このためには、道路内に下水道管に接続するための公共ますが設置されるわけですが、この数につきましては、4,900カ所以上ということでございます。

また、維持管理につきましては、不定期ながらも巡視をやったり、あるいは定期的な管渠の清掃に伴って、ますの点検も行い、段差があれば、その修理を行っているというのが実情であると答弁を受けましたけれども、この汚水ますと道路との段差、把握されいおるとは思いますが、実態として、この4,900カ所の中で占める割合といいますか、大体数でどのくらいあるのか、お尋ねします。

○議長 横尾 武志君

都市整備課長。

○都市整備課長 大石 眞司君

段差の箇所数までは把握はしておりませんが、道路パトロールなども行っておりますので、その際に段差の激しい所などを把握しまして、対処してるという次第でございます。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8番 小田 武人君

実は、私は、ほとんど毎日ウォーキングをやっているわけですが、そのコースの一部において、30カ所ぐらいますがあるわけですが、その中でも七、八カ所、2.5センチぐらいから、ひどい所で4センチあるいは5センチ近くあるかなという所が、結構ですね、見受けられるわけですね。そういう状況でありますので、市街地の中では、もっと数があるんじゃないかなというふうに思っております。西浜町、幸町あたり、僕は自転車でよく回るもんですからね。そういう所におきましても、例えば、幸町、若松歯科さんの自宅の所から園田さんの所につきましては、二十数カ所ますがあるわけですがけれども、そのうち10カ所ぐらい、ひどい段差がついております。そういう状況の中で、高齢者の方々が外出、あるいは障がい者の方々が外出されるときには、非常に利用しづらいような状況じゃないかなというふうに思っております。したがって、そういう危険であるという、この段差の解消策として、予算の関係もあろうと思っておりますけれども、今後、この対策として、どのように考えてあるのか、お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

都市整備課長。

○都市整備課長 大石 眞司君

先ほど議員言われました段差の問題ですけども、最近、北九州市のほうで、そういった事故が起きているということもネットのほうで調べさせていただきました。そういうこともございまして、先ほども申しましたように、下水道担当職員の巡視点検、それと道路管理も行っております

平成 23 年第 3 回定例会（一般質問）

ので、道路管理者としまして、道路パトロールを強化させまして、先ほどご指摘のありました箇所につきましては、場所をちょっとお教えいただきまして、再確認をしたいと思います。

また、その他の箇所につきましても、道路パトロールなどを強化させるということで、実態を把握しまして、維持管理を行ってまいりたいと思います。

○議長 横尾 武志君

小田議員。

○議員 8 番 小田 武人君

さきに策定されました第 5 次マスタープランの主要施策の中でも、いわゆる高齢者や障害のある人たちに配慮したバリアフリー化など、人に優しい道づくりを推進しますと。こういうことが、マスタープランにもうたってありますし、高齢者保健福祉計画の中でも、こういう公共施設に対するバリアフリー化もきちっと示されておるわけですね。そういうことも踏まえて、こういう危ない所については、先ほど申しましたように、高齢者あるいは障害を持たれた方々、特に目の不自由な方々がつまづいて、転んでけがをした、そういうことのないように、十分な対応をぜひお願いしたいと思います。

先ほど所管課長のほうからお話がありましたように、北九州市において、マンホールの 3 センチの段差につまづいてけがをされ、これが裁判になっております。北九州市のほうを負けております。敗訴しております。この判決理由の中でも、3 センチの段差であっても危険性が十分にあり、安全性を欠いていると。段差がないように管理すべきであるというような判決の中で指摘をされております。芦屋町におきましても、そういう可能性が十分考えられますので、早急に、予算との兼ね合いがございますけれども、年次計画でも策定されまして、早急にこれらの解消に努めていただきたい。道路上の物だけじゃなくて、いろんな公共施設の中でバリアがあると思います。そういうものについては、フリー化をぜひ進めていただきたいということをお願いいたします。質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

以上で、小田議員の一般質問は終わりました。